

## ペンテコステの祈り

2012年6月3日

アリエル・ブルーメンソール、ミカエル・エノス、アシェル・イントレーター

二千年前、エルサレムにいた大勢のユダヤ人弟子らはイエシュアの言葉を信じ、共に約束された聖霊のバプテスマを待ちました。彼らは何が起こるか事前に知り得たでしょうか。彼らが奇跡的に異言で語る事など、一日に三千人が救われるなど、恐らく知り得なかったでしょう。

ペテロは聖霊の炎が注がれた直後、ヨエル書から引用しました。明らかに、ヨエルの預言は、彼らの夜通しの祈りにとって主要な黙想と啓示のテーマでありました。恐らくイエシュアは、ご自身が天に昇られる直前ヨエル書から教えられたのかもしれませんが。

一週間前、私たちは2回目の徹夜シャヴオット（ペンテコステ）祈禱集会を開きました。12時間ずっと、大勢の現代のイスラエル人弟子と多くの国の祈りのパートナーらと共に、賛美し執り成し、祈りを続けました。二千年前の弟子たちのように、これは特別な時、特別な場所、そして信じる友らとの特別なネットワークであり、ヘブライ人預言者らが預言した終わりの時 リバイバルが解き放たれるよう祈りました。

主は再臨より前に、オリーブ山にご自身の足がつく前に、より頻繁にこのような集会にご自身を現して下さるものと私たちは信じています。復活後や天に昇られる前に主が別の場所にいる様々なグループに現れたように、主は逆の順序でご自身が再臨される前に、様々なグループにご自身を現され、そして来られるでしょう。

### 「フレーム(炎)」

ロシアのカスペルスキー・インスティテュート(注1)は今週、中東全域のコンピューターシステムを攻撃し、2年間発見されずにいた新ウイルスを特定しました。この新ウイルスは「フレーム(炎)」と呼ばれており、20メガバイトのサイズを持ちます。(それは有名な「Stocksent」(注2)ウイルスより40倍も大きいものです)このウイルスのサイズと洗練度は、いかなる個人ハッカーであっても不可能であり、ある政府の諜報機関の関わりを示すものです。

訳注1: 英語表記は Kasperski institute で、Kaspersky のスペルミスと思われる。特定の訳がなく、「カスペルスキー研究所」か「カスペルスキー機関」とも訳せる。ロシアのエフゲニー・カスペルスキーによって設立した暗号解読機関。

訳注 2: この「Stocksent」ウイルスに関する情報は google で検索しても出てきません。そのため、そのままの英語表記にしてあります。

「フレーム(炎)」は、プログラムは破壊しませんが、寄生虫のようにそこから情報を取り出すのです。影響を受けたコンピューターの数、イランは 189、パレスチナは 98、スーダン、シリアは 32、レバノン、サウジアラビアは 10、エジプトは 5 でした。一方イスラエル政府はこのウイルスとの関連を拒否しましたが、ネタニヤフ首相は、人工知能学は国際テロに対するイスラエルの防衛に対して重要な側面であるというコメントを出しました。[2012 年 5 月 29 日付マアリヴ、イエディオット]

## 非正統派ラビ

女性の改革派ラビであるミリ・ゴールドの 2005 年に出された陳情に対し、イスラエル司法長官当局は、保守派や改革派ラビに給与を出す事を許可しました。これは、イスラエルのユダヤ教組織の正統派による独占が破れた、初めての事です。この決定は賛成、反対両方から強い反応が出ました。この決定に関して確かにメシアニックジューの共同体は含まれていませんが、イスラエルでのユダヤ教に関する多様性と自由に対するいかなるステップが踏まれることには賛成です。

詳細はエルサレムポストの記事をご覧ください。

<http://www.jpost.com/nationalNews/Article.aspx?id=271869>

## 本の週

今週はイスラエルでは「本の週」です。この小さな国は、一人当たりの本の出版数は世界で最も多いのです。国立図書館の統計によると、今年、不可解とも言える 6,302 件の新刊が出るということです。さらに、1,359 件の修士論文と 1,074 件の博士論文が刊行されるのです。[2012 年 5 月 30 日付 マアリヴ]

## マドンナの説教

ポップシンガーのマドンナは意図的に、彼女の 2012 年世界コンサートツアーをイスラエルで開始しました。彼女は、ここが世界のエネルギーの中心であり、世界平和を開始する場所であると述べました。彼女のコンサートには性的不品行、ニューエイジの神秘主義、左翼の方針、ユダヤ教、宗教と冒涇が奇妙に混合していました。以下エルサレムポストの記事をご覧ください。

<http://www.jpost.com/LandedPages/PrintArticle.aspx?id=272294>

## 神の似姿と創造されたものに対する支配

ユヴァル・ヤナイ

最近私たちのチームはコミュニケーションスキルに関する長時間のワークショップに参加しました。それにはクリスチャンのプロの馬の調教師やコーチと共に行うものでした。馬の扱いを通して私自身と他者との関わりについて深い理解を得ることができました。

**創世記 1:26** -そして神は、「われわれに似るように、われわれのかたちに、人を造ろう。そして彼らに、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地をはうすべてのものを支配させよう。」と仰せられた。

この箇所は二つに分かれています。最初に、私たちは神の似姿として創られています。第二に、私たちは動物たちを支配するように定められています。最初の箇所は二つ目の箇所を実行するための元であり、それを可能とするものです。神は創造物に関する完全な支配者であります。主はご自身の創造物を理解し、発展させ、それを調和させます。

創造されたものに対する支配権を取るということは、創造物を超え、その上に立つことであり、より理解し、より愛し、より自信を持つことです。それこそ神の似姿として創られた私たちの正しい地位なのです。それは神の創造物を虐待(訳注:あるいは悪用)、のろい、または傷つけるものではなく、それから疎遠になり、離れることでもありません。正しく支配するために、神は私たちにご自身の似姿を与えて下さったのです。

神は、私たちに創造物を支配するようゆだねられました。この地の繁栄は神の子どもたちとして、神がご計画されたことを成就させる能力が私たちにあるかどうかにかかっています。(ローマ 8:19-22) 私たちがこの地の支配に対して成功あるいは不成功であるかどうか、この地上の状態を左右するのです。

同じように、創造物の状態は、創造主の似姿として創られた私たちの状態を反映します。私たちが正しく創造物を支配する能力は、神の似姿としての召命を成就していることを反映する度合いを示します。創造物に対処することは私たち自身の姿と霊的状态をテストすることなのです。創造の鏡にどう自分は映っているのでしょうか。

私たちは神の似姿であるのでしょうか。私たちは神の創造物と正しい関係にあるのでしょうか。どの程度私たちは創造物を発展させ、理解し、支配しているのでしょうか。創造物の反応を見ることによって、私たちの心が神の最初の戒めを成就しているかどうかを露わにするのです。